

特集 ICTで変わる学び 学習用タブレット端末の導入



今月の表紙

三坂地小学校の6年2組にご協力いただきました。

子どもたちにカメラを向けると…マスクをしていても伝わる笑顔が！！



#1

特集

ICTで変わる学び

学習用タブレットを購入するための議案を令和2年12月定例会で可決し、令和3年4月より、呉市立小中学校の児童生徒および教職員が1人1台のタブレットを用いた新たな教育が始まりました。今回、広報委員会の委員である小田議員と光宗議員がタブレットを活用した授業の様子取材しました。

今

回は、呉市立三坂地小学校に伺いました。教師の仕事

内容は非常に多岐に渡り、通常、学級担任として、国語、算数、理科、社会のほか、道徳や、総合的な学習等の授業を行います。その他にも、学級活動を通じて学校生活の充実を図り、遠足や運動会などの行事や、クラブ活動の指導、家庭や地域との連携なども行います。特に、核家族化が進む中、ひとり親世帯や、共働き世帯の増加などにより、家庭との連携は重要で、保護者と共に子どもの成長を見守るためにも、学校での生活や課題を伝えるとともに、家庭での様子を知るために懇談会などを行います。

また、国が掲げるGIGAスクール構想の実現に向け、令和3年4月から、呉市立小中学校に在籍する全ての児童生徒に一人一台のタブレットが貸与され、授業にICTを活用する取り組みが始まっています。未来を創る人材の育成をめざす今どきの授業の様子や、ICT化が進む教育現場取材しました。



導入から1年5カ月： 見えてきた活用方法

タブレットの導入当初は、正直、上手く活用できるか不安でしたが、今は、活用方法が見えてきました。中でも、授業中の子ども同士の交流に効果的で、例えば、子どもがノートの写真を撮って、ロイロノートというアプリにデータを送り、それを先生が画面に映し出すと、同時にクラス全員がその子のノートを見ることが出来ます。

本校では、毎週末の職員会議で、タブレットの機能紹介などを行うICTプロ研修を実施しており、特に、ロイロノートは、ICT推進リーダーが中心になって、少しずつ情報共有してスキルアップしました。やはり、タブレットだけあっても意味がなく、何が出来るようになっていくかがとても重要です。

また、ロイロノートは、セキュリティがとて高く、グループ内の先生と子どもしか情報共有できないようにしており、安心して使えます。本日に、ロイロノートの予算をつけていただき、感謝しています。



三坂地小学校
あべ 安部 校長

三坂地小学校
かじもと 梶本 教頭

「ロイロノート・スクール」とは

このアプリは、呉市立の小中学校に導入しており、子どもたちの考えを助け、その考えを人に伝えることができます。カードでの情報作成、資料の配布・提示・回収・共有等が行え、授業で役立つ機能がたくさんあります。



「正しい情報を探せる子に・・・」

タブレットの導入時は、アカウント登録や不具合への対処など、大変でしたが、先生方はタブレット導入に前向きで、開催した研修会にも積極的に参加してくれました。タブレットは便利な一方、依存しやすい面もあるので、子どもたちを守るためにも、ルールの大切さを改めて感じています。

今後も、色々なことができるタブレットを正しく活用できる子どもたちに育ててほしいです。

ICT 推進リーダー
もりたか だいき
森高 大樹 教諭 (31)
専攻: 社会科(教師: 7年目)



働き方改革にも影響

アンケート調査もタブレット端末を使用することで簡単に実施できます。以前は、正の字を書いて集計していましたが、今は、ロイロノートにアンケートのデータを入れて、保護者や子どもに回答してもらうので、集計が瞬時にできるようになりました。

また、授業準備では、資料を事前に拡大コピーしていましたが、タブレットの導入により、資料をモニターに映し出すことで準備時間が短縮されました。

本校の取り組みとして、教職員に共通認識してほしいことを、教頭先生がタブレットから職員室に設置したモニターにデータ送信して、映し出し、見える化しています。また、6月から、健康観察カードをタブレットによるデータ送信に変更し、集計が楽になりました。



タブレットと紙、両方で。

授業中に使用していた図は、ロイロノートの中にあるシンキングツールです。授業全部をタブレットで行うのではなく、意図して紙も使用し、大切なことは全体の場で先に伝えて、自分でできることは、その次にさせました。時間配分を考えながら、タブレットを使用し、やりたいことを選択して授業を組み立てますが、最終的には目標を達成していきます。本日は、新たな熟語を考える場面でタブレットを使用しましたが、普段は意見を言わない子も、タブレットであれば、意見を出してくれるので、斬新な回答が沢山見受けられました。単にノートに書くだけでなく、全く手が動かない子がいます。タブレットだと、いい意味で、ゲーム感覚で回答を提出してくれ、興味を持って学ぼうとする子が増えてきたと感じます。

今どきの国語の授業

GIGA スクール構想

GIGAスクール構想とは、1人1台の情報端末を全国の小中学校等に配備し、学校において新しい学びの形を実現するための構想で、2019年12月に文部科学省から発表されました。本構想で提唱されている「多様な子どもたちを誰一人取り残すことのない、公正に個別最適化された学び」の早期実現をめざしています。

タブレットはどんな存在？

友達！
(親友はクラスの友達)

ふくみつ こうし
福光 光志 さん (12)
好きな科目: 体育、社会

漢字ドリルにある二次元バーコードをタブレットで読み取り、漢字の書き順が確認でき、便利です。



勉強に欠かせないもの！

たぶち みゆ
田淵 美優 さん (12)
好きな科目: 社会、体育

タブレットは、画像検索もでき、とても分かりやすいので、自主勉強でよく使います。



セキュリティ対策

児童に貸し出しているタブレットは、有害なサイトにアクセスできないよう、セキュリティ対策を講じています。セキュリティが強すぎて、学習にしたいサイトが見られないことがありますが、その時は、教育委員会にそのページを伝え、個別で見られるようにしてもらいます。

プログラミング教育

小学校では、タブレットを使って、ロボットを動かすといったことではなく、「目的を達成するまでの過程を子ども自身が考える」といった、プログラミング的思考を身につけさせることをめざしています。



新たな特集に議会らしさをプラス。広報委員が取材に！

4月



特集の協議では、議会らしさを取り入れたいという意見もあり、議会で議決した議案のその後を取材することにしました。もちろん、特集の取材や調整等は、広報委員が班に分かれて行います。早速、本号の取材のため、^{おだ}小田議員と^{みつむね}光宗議員が三坂地小学校へ伺いました。

リニューアルPOINT！

- 身近に。**
手に取って見たくなる仕掛けとして、裏表紙に、毎号小学生が登場。
- 議会らしさを。**
議決した議案のその後を広報委員が取材する新たな特集を開始。
- 見やすく。**
端的で分かりやすい文章、程よい余白、写真等の活用により見やすさを追求。

掲載ルールやレイアウト等の協議

令和4年
2月



掲載ルールについて、平等と見やすさを軸に協議しました。特に市民の関心が高い、一般質問および予算総体質問の協議では、顔写真・イメージ写真等の挿入について意見が分かれました。また、レイアウトの協議では、文字で多くの情報を伝えたい思いと見やすくしたい思いから協議が難航しました。

リニューアル版(案)を作成し、協議

11月



これまでの協議を踏まえ、議会だよりのリニューアル版(案)を試作し、手に取って協議することで、改善点が見つけられ、表紙ロゴも変更することにしました。



10月 研修会の開催

令和3年10月11日に、^{さくま}佐久間氏を講師に招き、委員全員が「伝わる広報研修会～議会だよりのリニューアルに向けて」をテーマにZOOMで研修を受けました。研修会を終えて、事前に広報委員会で協議していた課題の解決策や、呉市議会だよりのめざす姿が見えてきました。

令和3年
4月

リニューアルに向け、本格的に始動

呉市の将来を担う若い世代にも議会だよりを読んでもらうため、令和3年に広報委員会で魅力向上に向けた議論を始めました。その中で、現状を変えるには、議会だよりの「リニューアル」が必要との意見が多数上がり、全面リニューアルを行うことにしました。

「チーム議会」を新たに、
より読みやすく！

RENEWAL

リニューアルした議会だよりの

「TEAM GIKAI」



第22号を発刊！
表紙のリニューアル

呉市議会の代名詞である「チーム議会」を新たなロゴで表現。表紙デザインは、特集に関連した写真等を使用し、毎号テーマカラーを変えて作成。

「読む」から「見る」広報紙に。

「誰もが見やすい広報紙」とするため、文字ばかりではなく、写真等を活用し、ビジュアル化しました。併せて、配布時の負担を減らすため、紙の重さの軽減も図りながら、写真なども見やすいマットな紙質に変更しました。



創刊号 はじめに

呉市議会だよりの「チーム議会」は、「開かれた議会」をめざす取り組みの一環として、2017年に創刊し、今回で第22号を迎えます。市民の皆さまには、チーム議会を通じて、議会をより身近に感じていただきたいです。



ESCO事業で照明をLED化します！(契約期間 令和4～19年度)



LED化で省エネ対策！

〈議第65号〉契約の締結について

契約金額 8億600万円

ESCO事業により、市が管理する道路及び公園の照明を令和4年度中にLED化し、維持管理します。

Q：照明施設7,728灯の改修と、その管理方法について教えてください。

A：今年8月頃から、道路と公園の照明をESCO事業(省エネの改修経費を、削減される光熱費で賄う事業)によりLED化します。令和5年度にコールセンターを設け、市管理の道路・公園照明に不具合があったときの連絡先とする計画で、このことは市政だよりなどで広報する予定です。

なお、道路・公園以外の施設照明のLED化は、現在、各所管課において検討中です。

6月定例会 議案審議

会期
6月13日～6月24日

呉市で決まった22件

- 市長提出案件・・・12件
- 議長提出案件・・・1件
- 決議・・・1件
- 意見書・・・1件
- 選挙・・・2件
- 報告・・・5件



CHECK!

議案名と結果は呉市議会ホームページで!

呉市議会ホームページでは、議案名や議案資料、また、議員別賛否も掲載しています。右記の二次元バーコードを読み込んでいただき、ホームページをご覧ください。

HPはコチラ!



RORO船定期航路の誘致に向け、呉港港湾計画を一部変更します！



RORO船定期航路による物流

〈議第67号〉呉市一般会計補正予算

契約金額 3,000万円

呉市近郊の小口貨物を取り扱う中小企業には海運拠点がないため、港湾計画を変更して輸送の定期航路を誘致します。

Q：なぜ、今、RORO船を誘致するのですか。

A：呉市近郊の中小企業は、トラック輸送に依存しており、高齢化による労働力不足や物流業界の2024年問題(ドライバーの働き方改革)による輸送費高騰等に対応するため、トラックに代わる輸送手段の構築が必要であり、業界からの要望も踏まえ、安価で効率的な航路を確保します。

また、RORO船はコンテナ船に比べ、車両で直接乗り込むことができ、ふ頭のクレーン設備が不要といった利点があります。



条例制定により、共生社会の実現をめざします！



手話による委員会傍聴

〈議第63号〉呉市手話言語条例の制定について

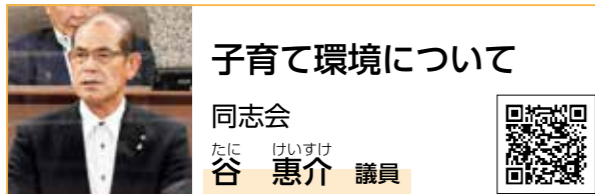
施行日 令和4年6月30日

手話が言語であることの認識、ろう者への理解及び手話の普及に向け、環境整備を行うため、条例を制定します。

Q：条例内容の周知方法と、各場面における手話通訳の在り方を伺います。

A：条例制定後の取り組みが必要であるため、市政だより、テレビ番組およびパンフレット配布などで広報し、また市職員向けのガイドブックの作成や研修を行い、関係団体の意見を聞きながら必要な施策を実施します。

市行事などの手話通訳費用は予算化しました。民間での負担が難しい場合で、市へ費用負担の要望等があれば、関係団体の意見も聞き、そのことを踏まえ、実効性のある対応を検討します。



子育て環境について

同志会
たに けいすけ
谷 恵介 議員



議員：福祉医療助成制度

医療費助成制度（1回500円まで）を拡充し、通院費を中学生まで、入院費を高校生まで適用することはできませんか。

また、音がひずんで聞こえ、言葉が理解できないにもかかわらず、障害認定外のため、高額な補聴器の購入がままなりません。補助等はありませんか。

市：本制度の対象年齢の拡大や、自己負担の在り方について他市の事例を参考にし、改めて検討していきます。

また、障害者手帳を持たない子どもでも、補聴器を装用することが望ましいと医師が診断したときは、3分の2を限度として助成します。



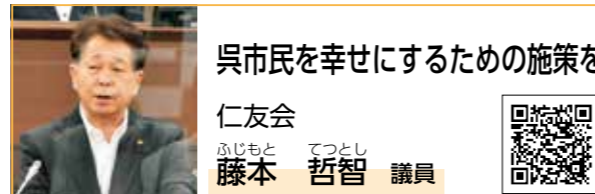
元気が一番！

議員：「障害」という言葉に愛称を

発達障害児等には、「障害」という言葉を素直に受け入れられず、子どもの療育の妨げとなっている場合があります。そのため、発達障害だけでなく、全ての障害者のために、「障害」に代わる愛称を呉市独自に作り、障害者も健常者も共に明るく、安心して生活できるようにできませんか。

市：「障害」の表記については、国の会議等で議論されてきましたが、障害当事者や団体など、それぞれの立場で様々な意見があり、当面の間、変更しないこととされています。

また、「障害」という言葉への抵抗感をなくすために、差別や偏見を取り除き、一人一人の個性を尊重することの大切さを認識し、保護者の不安が軽減されるよう啓発活動に努めていきます。



呉市民を幸せにするための施策を

仁友会
ふじもと てつし
藤本 哲智 議員



議員：令和3年度の人口減少は4,914人

呉市は、中核市の中で人口減少率がトップクラスですが、人口流出を緩やかにするための取り組みや今後の計画を伺います。

市：人口減少は、呉市の大きな課題で、長期総合計画に掲げた将来都市像の実現に向けた施策を展開し、まちの魅力を総合的に高めていくことが重要と考えています。

まず、産業振興や雇用の創出に向けて、企業立地に対する助成、起業家支援プロジェクトなどの取り組み、観光振興計画の実現に向けた新たな観光推進体制を構築していきます。そして、デジタル化を推進し、Society 5.0の時代にふさわしい技術を活用し、地域課題の解決に取り組むスマートチャレンジくれを実施します。

また、子育て支援や呉駅周辺地域総合開発などの推進により、市内外の方に呉の魅力を発信することで、広島市や東広島市などへの通勤・通学者の居住地にもなっていくものと考えています。

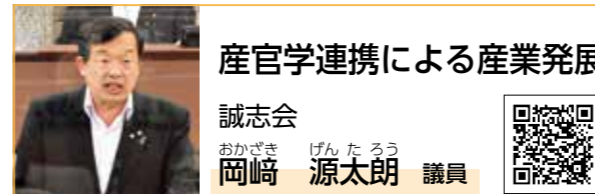
議員：観光資源への投資を！

大和ミュージアムだけでなく、市内の観光資源に投資して魅力を向上させる考えはありませんか。

市：市内に多様な観光資源を有していますが、マーケティングなどの取り組みが不足している状況です。今後は、マーケティング調査により観光客ニーズの把握・分析を行い、呉市でしか味わえない観光プロダクトを開発していきたいと考えています。



呉ならではの観光プロダクトを



産官学連携による産業発展

誠志会
おかざき げんたろう
岡崎 源太郎 議員



議員：産業振興の取り組み

呉市は、産業分野で産官学連携を図ることは重要であると認識していると思いますが、その現状と取り組みを伺います。

市：産業振興を進める上で、市が大学等と産業の連携を図ることは大変重要であると認識しています。例えば、呉市中小企業・小規模企業振興会議では、産業界・教育機関・市役所が一緒になって、議論しており、令和4年度は、脱炭素をテーマとした調査・研究や具体的な施策に取り組んでいます。また、くれ産業振興センターによる講演会等を通じて、大学等が保有するシーズ（技術の種）を広く呉市内の企業へ紹介するなど、イノベーションの促進を図っています。

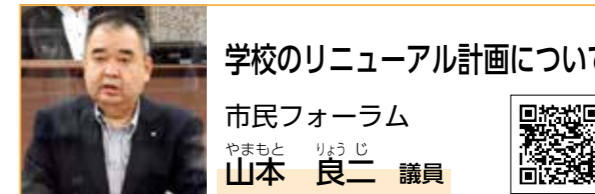


大学との連携による産業発展に期待！

議員：9大学との連携が重要

呉市は、呉地域周辺の9つの大学と連携していますが、現在の取り組み状況を伺います。

市：平成12年に呉地域オープンカレッジネットワーク会議を立ち上げ、高等教育機関が持つ資源を有効活用し、呉地域を一体化するまちづくりを進めています。本年度からは、くれ産業振興センターに医工連携アドバイザーを1名採用し、中小企業の高度な技術と、充実した医療福祉等の機関が集積している呉市ならではの新たな事業発展を期待しています。今後、さらに多くの大学等に参画を働きかけるなど取り組みを進めます。



学校のリニューアル計画について

市民フォーラム
やまもと りょうじ
山本 良二 議員



議員：長期的な計画が必要

市立呉高等学校では、これまでも施設・設備の修繕等として、耐震工事に伴う多目的ホールの天井張り替え・特別教室への空調機器の設置・ICT教育充実のためのWi-Fi環境の整備等、教育環境の整備を行っています。

また、呉市の発展に寄与する人材の育成を教育目標に掲げ、外部講師を招いて、防災・呉学・地域の課題を考えるプロジェクト学習等を行い、学習内容の充実が図られていますが、校舎等の建物については、老朽化が進み、改善・改築が必要な状況です。同校の一昨年度の入試では、初の定員割れとなり、将来的な競争力の維持のためには、教育内容の一層の充実とともに校舎のリニューアルは避けて通れない課題と考えており、このことには、長期的な見通しを持って計画的に取り組むべきと思いますが、市の考えを伺います。

市：校舎、体育館等の11棟の建物は、昭和38年から平成11年の間に建てられ、多くは老朽化が進んでいます。こうした状況から、現状把握を行うとともに、校舎等の延命化を図りながら、計画的に改築・改修を行うため、昨年3月に「呉市立学校施設長寿命化計画」を策定したところです。校舎のリニューアルには高額の経費を要するため、長期的な計画を立てた上で取り組みます。



リニューアルでより快適な学びを



その他にこんな質問がありました。

個人質問

井手畑 隆政 議員



- ・ゆめづくり地域交付金制度の見直しについて
- ・住民自治と地域協働の考え方について



議会図書室

議会図書室には、市政資料室も併設されており、市議会会議録をはじめとして、市が発行する行政資料、地方自治や財政に関連する図書、新聞などを収集・保存しています。

また、司書が常駐しており、議員からの資料検索等の相談を受けています。

HPで

インターネット中継を配信！



傍聴可能な本会議や委員会などは、インターネットでライブ中継や録画中継を配信しています。

呉市議会ホームページ

呉市議会

検索



詐欺・悪質商法対策

山上 文恵 議員



議員：被害防止の積極的取り組み

被害防止への積極的な取り組みを伺います。

市：今年4月に成年年齢が引き下げられたことから、市内の高等学校を訪問し、2・3年生を対象とした訪問授業の実施や、高齢者を被害から守るため、出前講座の開催や、呉市消費者協議会の「劇団ダマサレンジャー」による寸劇で分かりやすい啓発を行っています。

また、昨年度から実施している迷惑電話防止機能付電話機の購入助成を受けた方の8割が、不審電話が減ったとアンケートに回答しており、引き続き、助成制度の広報に努めます。



分かりやすい広報で啓発

マスク自由化の声明発表を！

谷本 誠一 議員



議員：マスクをしない子への差別・偏見

4月1日に、多摩市教育長がマスク自由化声明を発表し、マスクをしない子、できない子がいることに理解を求め、全力でノーマスク児童を差別や偏見から守っています。マスクをしない子とは、思想信条を理由とすることを示唆していますが、呉市も多摩市と同様に脱皮する考えはありませんか。

市：今後も、国の示す学校衛生管理マニュアルに基づき、適切に対応していきます。また、これまで同様マスク着用の有無による差別・偏見がないよう、学校と連携しながら対応していきます。



ノーマスクの子を差別しない

地球温暖化対策

沖田 範彦 議員



議員：バイオマス燃料の使用

市の施設から、多くのCO2が排出されますが、地球温暖化対策のため、竹などのバイオマス燃料を使う考えはありますか。

市：市の事業活動等により発生する二酸化炭素を含む温室効果ガスの排出量は、令和2年度で合計7万1505トンCO2です。

竹をバイオマス燃料として活用するためには、原料の安定的な供給や確保、伐採や運送等にかかる費用、また、専用施設の整備等多くの課題があるため、費用対効果を含めて、他都市の事例等を研究していきます。



竹をバイオマス燃料として活用

島根原発再稼働への対応

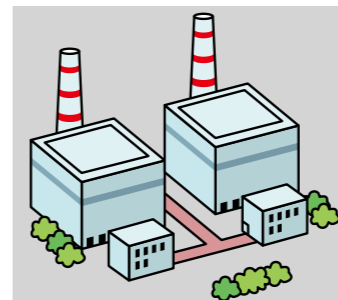
奥田 和夫 議員



議員：避難者受入れ体制が不十分

島根原発2号機の再稼働はやむを得ないと島根県知事が表明されました。原発事故時に、呉市は、出雲市の塩冶地区と高松地区の避難者1万8250人を受け入れることになっており、この受入れマニュアルはあるものの、国や県のガイドラインに沿っただけのもので不十分さがあることから、再稼働を見送るよう申し入れるべきではないですか。

市：この仕組みは、万が一の時に広域避難を受け入れるものであり、そうした立場から再稼働見送りの申し入れは考えていません。また、マニュアルも特段の不具合はないと考えています。



安全運転が重要



一般質問（個人質問）

6月16日に、個人質問を行いました。



地方創生臨時交付金の有効活用

上村 臣男 議員



議員：市民・事業者への支援

政府は4月に、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の中に、コロナ禍での物価高騰の影響を受けて困窮する生活者や事業者の負担軽減を目的とした予算の特別枠「コロナ禍における原油価格・物価高騰対応分」を設けました。この拡充された特別枠は、市の判断で、地域の実情に応じて幅広く活用できる自由度の高い予算ですが、今後の事業の考えを伺います。

市：国から呉市へ8億円の交付限度額が示され、今後、この交付金の趣旨を踏まえ、市民や事業者が何にお困りか丁寧に聞き取った上で、必要な支援策を検討し、機を逃さず、速やかに予算化を図る考えです。

議員：学校給食費の負担軽減

ウクライナ危機により、原材料が値上がりしており、今後も、食材の高騰が懸念されます。臨時交付金の目的に、負担軽減という項目が追加されていることから、物価高騰による給食費値上げを抑えて、保護者の負担軽減を図るべきではないですか。

市：学校給食の食材は高騰しており、使う食材の工夫等により給食費の中で対応してきましたが、今後、献立作成への影響が懸念されるため、臨時交付金を活用し、保護者に負担を求めることなく、子どもたちが喜ぶ給食を維持するよう検討しています。これからも、給食が学校に行く楽しみの1つとなるよう様々な努力をしていきます。



給食は楽しみの1つ！

■ 物価高に対応した補正予算を審議

8月1日に臨時会を開催しました。
臨時会では、国の「コロナ禍における「原油価格・物価高騰等総合緊急対策」」を踏まえ、今後の原油価格や物価高騰等によって、すでにコロナ禍で経済的に厳しい環境に置かれた市民・事業者を支援するため、各業界や市民団体等の実情を聞き取り、呉市が必要と判断し、取り組む対策に要する経費（補正予算2件）について審議されました。

■ コロナ禍における「原油価格・物価高騰等総合緊急対策」

1. 生活に係る支援



予算額 6億4,680万円

市内の家庭や事業者（約10万5千件）を対象に水道基本料金の4カ月分を免除します。（※申請不要）
また、未給水地区や上水道を利用していない世帯等（約1,500件）へは、5,200円を支給します。（※要申請）
さらに、学校等給食への食材価格高騰分の負担軽減を図ります。

2. 事業者への支援



予算額 1億5,790万円

一般貨物自動車運送事業者等、施設園芸農家、一般公衆浴場などを対象に給付金の支給等を行います。
また、国が実施する小規模事業者持続化補助金への追加支援も行います。

■ 議会はココが気になった!!



小中学校給食への助成
予算額 1,660万円

小中学校給食への助成内容と、期待される効果を伺います。

市 給食費に食材価格の高騰率5.71%を乗じた金額を助成します。給食食材への助成により、保護者に負担を求めることなく、食材価格の高騰前の給食内容に戻すことができると考えています。これからも、子どもたちに喜ばれる給食を提供するため、様々な努力をしていきます。



■ 副議長に ^{なかはら あきお} 中原 明夫 議員が就任

[Profile]
なかはら あきお / 55歳
2007年初当選 / 民生委員長などを歴任

6月13日の本会議で、中原議員が副議長に就任しました。「今後は、北川議長を補佐し、さらなる呉市議会の発展に努力していきたいと思っておりますので、議員各位においては、御鞭撻をよろしくお願い申し上げます。」と決意を新たにされました。



決意表明をする中原副議長

■ 呉市監査委員に ^{ふくなが たかみ} 福永 高美 議員が就任



6月24日の本会議で、福永議員が呉市監査委員に就任しました。

※監査委員の職務とは
市の財務に関する事務の執行が法令等に基づき適正か、また、市の経営にかかる事業の管理が合理的であるか監査します。

議会協議会

■ ミットヨスポーツ郷原の施設移転等を協議

8月1日に議会協議会を開催しました。
議会協議会では、これまで、一部議員から質問があった「ミットヨスポーツパーク郷原（呉市総合スポーツセンター）」の施設移転および再配置、産業団地への転換について、市からの報告があり、呉市議会は質問や要望などを行いました。



■ 議会はココが気になった!!

ミットヨスポーツパーク郷原の移転・再配置と、産業団地に転換する理由を伺います。



市 本市では、大規模事業所の全設備休止等を控える中で、市内に立地したいという企業の需要に応え、経済の発展につなげていくことが喫緊の課題となっています。また、当施設は、平成17年の取得以降、本市の拠点スポーツ施設としての役割を担ってまいりましたが、アクセス面などで課題があります。
一方、内陸部を中心に事業用地のニーズが高いたとも、当施設は、工業団地が集積する地域に位置しており、比較的容易に産業団地に転換できることから、早期に企業の進出に結びつけることができます。こうしたことから、スポーツの振興と本市経済のさらなる発展に取り組んでいくため、当施設を移転・再配置し、産業団地として売却します。



※撮影のためマスクを外しています。

呉中央小学校

6年生 まつかわ かほ 松川 果歩 さん(12)

“ 「子どもに関わる仕事」 に就きたい! ”

■ 小さい子と話したり、お世話をしたりすることが好きなので、将来、子どもに関わる仕事に就くことが夢です。小さい時からピアノを習っているので、子どもたちとリズム遊びや歌を楽しみ、子どもたちやその家族と話して、少しでも子育てに役立つ仕事ができたら嬉しいです。

■ 呉市には、呉ポートピアパークなど無料のキッズスペースを設けた施設がたくさんあります。子どもたちが安全に遊ぶように、机の角に安全クッションを付けたリ、プレイマットを床に敷いたりして工夫している方々に、いろいろな安全対策について聞いてみたいです。

9月定例会の予定						
日	月	火	水	木	金	土
28	29 告示日	30	31	9/1	2	3
4	5 本会議	6 本会議	7 本会議	8 本会議	9 総務委員会	10
11	12 民生委員会	13 文教企業委員会	14 産業建設委員会	15 予算特別委員会	16 本会議	17
18	19 (敬老の日)	20 決算特別委員会	21 決算特別委員会	22 決算特別委員会	23 (秋分の日)	24
25	26 決算特別委員会	27 決算特別委員会	28 本会議	29 予備日	30	

※予定は変更になる場合があります。

みる・きく

「インターネット中継」しています！



呉市議会ホームページ

<https://www.city.kure.lg.jp/site/gikai/>

本会議・常任委員会などの模様をインターネットで生中継・録画配信しています。

本会議や委員会の傍聴ができます！



議会棟 4階にて！

会議は通常、10時に開会します。

本会議や委員会など公開しています。議会棟4階にお越しください。

編集後記

呉市議会だより“チーム議会”も発刊から5年が経ちました。昨年、オンライン研修を行った際、講師の先生から「読めない愛のない広報紙は税金の無駄」という言葉を聞いて、今以上にいい広報紙を作りたいと広報委員一同、リニューアルに向け、走り出しました。より多くの方に手に取っていただけるよう、委員会で様々な議論をし、この度リニューアル号の発刊を迎えました。今後も、多世代の皆さまに愛される広報紙をめざし、引き続き、広報委員一同、研鑽して参ります。

広報委員長 小田 晃士朗